



公開講座 京大知の森 (第7回)

21世紀最大の環境課題とされる気候変動。そして生物多様性の喪失。世界的に議論が広がる「自然資本」や「ネイチャーポジティブ」の考え方、AIを活用した最新技術や社会シミュレーションを手がかりに、生態学・環境科学と社会科学・哲学の視点から、自然と社会の持続可能な関係を問い直します。私たちの暮らしや経済、次世代へつなげる未来を、京大で一緒に考えてみませんか。

2026
12.6
13:30 ~
16:30

13:00 開場

2050年の地球、 私たちの居場所はある？

— 自然と社会の持続可能な未来 —

京都大学国際科学イノベーション棟5階
HORIBA シンポジウムホール
(京都府京都市左京区吉田本町)

参加費
無料

定員
270名
抽選制



13:35 ~ 14:25
いせ たけし
伊勢 武史

京都大学 フィールド科学教育研究センター
准教授/東京都立大学客員研究員/みどりナビ代表

自然と社会は共存可能！？
自然を測って未来を展望してみよう

自然保護が叫ばれる時代ですが、「ほんとに自然を守れるの？」「自然を守ることは負担じゃないの？」なんて素朴な疑問を抱くこともあるかもしれません。自然をしっかりと測ることで、人にも自然にもプラスになる未来を実現することを目指して行っている活動を紹介します。



14:35 ~ 15:25
ひろ い よし のり
広井 良典

京都大学 名誉教授
鎮守の森コミュニティ研究所 所長

2050年、日本は持続可能か？
— 未来社会のデザイン —

日本の人口は 2008 年をピークに減少に転じ、2100 年には半分の約 6,300 万人になると予測されています。私たちが行ってきた AI を活用した未来シミュレーションを含め、日本と地球の持続可能な未来を幅広い視点から考えてみましょう。

15:35 ~ 16:25

講師による対談
・質疑応答

伊勢 准教授、広井 名誉教授



モデレーター
兼松 佳宏氏
(さとのば大学 学長)

提供: soar

詳細・申込はこちら



京都大学ホームページより
お申込みください

京大知の森

Q 検索

申込期限: 11月13日(金)

すべての講義日程終了後、オンデマンド配信を行います。
※ 当日のライブ配信は行いません。

問い合わせ

京都大学 成長戦略本部 社会連携推進担当

電話 075-753-2606
メール event@mail2.adm.kyoto-u.ac.jp

主催: 京都大学 後援: 京都府、京都市